

平成 2 3 年度

公立大学法人 業務実績評価書

平成 2 4 年 8 月

福岡県公立大学法人評価委員会

目 次

年度評価の考え方	-----	1 ページ
各法人の評価		
1 公立大学法人九州歯科大学		
(1) 全体評価	-----	2 ページ
(2) 項目別評価	-----	3 ページ
2 公立大学法人福岡女子大学		
(1) 全体評価	-----	8 ページ
(2) 項目別評価	-----	9 ページ
3 公立大学法人福岡県立大学		
(1) 全体評価	-----	15 ページ
(2) 項目別評価	-----	16 ページ

年度評価の考え方

1 項目別評価（中期目標項目別評価）

評価委員会は、法人から提出された業務実績報告書等を基に、業務の実績等について調査・分析を行う。

これらの調査・分析を踏まえ、中期目標の項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開、大学改革の推進（公立大学法人福岡女子大学のみ））ごとに、中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階で評価する。

- 5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
- 3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
- 2：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
- 1：中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価を踏まえ、中期目標・中期計画の進捗状況全体を総合的に評価する。評価は、業務の実施状況、財務状況、法人のマネジメントの観点から、記述式で行う。

組織や業務運営等に係る改善すべき事項があれば記載する。

※ 評価委員会の評価は、各法人が中期計画において設定した業務実施の計画や達成目標等を踏まえて行なったものであり、法人間の相対評価をしめすものではない。

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

1 総評

公立大学法人九州歯科大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標（中期目標期間：平成18年4月1日から平成24年3月31日まで）において、先端的な歯科医療の知識・技術を教授するとともに、高齢者の治療や健康管理指導ができる能力、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付け、歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成することを最も重要な使命としている。

中期目標期間の最終年度となった平成23年度の評価にあたっては、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目7項目中6項目（研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」と評定、1項目（教育）について「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

また、前年度の評価において進捗の遅れを指摘した業務運営に係る事項については、指摘を踏まえて改善に取り組んでいることを確認した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成23年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

歯科医療の高度化や高齢化社会の進展等、歯科保健医療を取り巻く環境や社会的ニーズが変化する中、公立大学としての役割を踏まえ、教育・研究はもとより社会貢献の充実に向けた取組を更に推進されることを期待する。

2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務の実施状況については、おおむね順調に進捗している。

教育については、歯科医師国家試験合格率が大幅に低下しており、合格率の高水準の回復に向け、原因分析と対策に取り組む必要が

ある。また、大学院については、定員充足率の改善について検討が必要である。

社会貢献については、e-learning を活用したりカレント教育について今後も内容の充実を図り、利便性を向上させることを期待する。

3 財務状況

財務の状況については、附属病院経営の改善、自己収入の増加、経費の節減のそれぞれの取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、順調に進捗している。

今後とも、事務局機能の強化に努めるとともに、運営体制の改善、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの確立、情報公開の推進に一層取り組まれることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	---------------------------------

平成23年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおりに進捗していることから総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 地域の発展に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成

- ・シラバスの検証や授業内容の改善により学生の成績が向上していることを評価する。
- ・学生による授業評価が低下している科目については、分析等の取組が必要である。
- ・歯科医師国家試験対策として、不得意科目克服のための補講や、協同学習の推進に取り組んでいるが、平成23年度の歯科医師国

家試験合格率が全国29大学中18位と大幅に低下（平成22年度4位）しており、合格率の高水準の回復に向け、原因分析と対策に取り組む必要がある。

(2) 適性のある優秀な人材の確保・育成

- ・模擬講義や実習体験コーナーなど、内容を工夫したオープンキャンパスの開催や、積極的な高校訪問の展開など入試広報活動を充実しており、一般入試の志願倍率が向上していることを評価する。
- ・大学の自己資金により東日本大震災被災学生に対する授業料減免措置を行ったことを評価する。

(3) 教育の質の改善

- ・FD（※）の推進に努めており、今後も教員相互の授業参観システムの構築など、より効果的なFDの展開に期待する。

※FD（ファカルティ・ディベロップメント）

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

(4) 学生への支援

- ・健康管理室活動を強化し、学生の定期健康診断受診率が上昇していることを評価する。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・若手研究者の育成に力点を置いた研究費の重点配分を行っている。

- ・歯工学連携による研究資金の新規獲得など、外部研究資金を積極的に獲得している。論文数及び学会発表数も増加しており、取組の成果として評価する。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・e-learningを活用したリカレント教育については利用者が増加している。今後も内容の充実を図り、利便性を向上させることを期待する。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けてプロパー職員の採用計画を策定し、平成24年度職員採用試験を福岡女子大学及び福岡県立大学と合同で実施している。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・授業料等学生納付金の未納に対する取組を強化し、未収金を解消したことを評価する。
- ・外部研究資金について目標を上回る収入実績をあげている。

6 評価

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・自己点検・評価及び個人業績評価の実施と改善、給与への効果的な反映に努めている。

7 情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・個人情報保護及び情報公開に関する説明会を開催するなど、個人情報保護に関する職員の意識向上に努めている。

公立大学法人福岡女子大学

I 全体評価

1 総評

公立大学法人福岡女子大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標（中期目標期間：平成18年4月1日から平成24年3月31日まで）において、職場、家庭、地域など社会の様々な分野において重要な役割を担うことができる優秀な女性を育成することを最も重要な使命としている。

中期目標期間の最終年度となった平成23年度の評価にあたっては、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目8項目中1項目（大学改革の推進）について「特筆すべき進捗状況にある」と評定、7項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡女子大学の平成23年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

福岡女子大学は、平成23年度に国際文理学部を開設し新しい時代にふさわしい大学づくりに向けた改革に全力で取り組んでいる。海外有力大学との学術交流協定締結数や海外への派遣学生数、受入留学生数が著しく増加し国際的な学習環境づくりに大きな成果を上げていることから特筆に値すると認められる。

今後とも理事長のリーダーシップの下、全教職員が大学の理念の実現を目指し、一丸となって実効性の高い改革を進められることを期待する。

2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献、大学改革の推進に関する業務の実施状況については、順調に進捗している。

教育については、キャリア教育の充実、入試広報の充実、就職支援体制の強化に努めている。また、管理栄養士国家試験対策を強化

した結果合格率が向上している。

大学改革の推進については、学生のニーズに応じた教育プログラムを幅広く提供するため、他大学との連携強化に取り組んでいる。

また、海外学習及び海外からの留学生受入のための制度・支援体制の充実により、海外派遣（交換留学、体験学習、語学研修）学生数及び受入留学生数が大幅に増加していることを高く評価する。

3 財務状況

財務の状況については、自己収入の増加、経費の節減の双方の取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、順調に進捗している。

今後とも、事務局機能の強化に努めるとともに、運営体制の改善、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの確立、情報公開の推進に一層取り組まれることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育

- ・就職関連講座の全面的な見直しやキャリアコンサルティングの充実を図ったことを評価する。

(2) 専門教育

- ・九州大学、西南学院大学とのコンソーシアムである「EUインスティテュート・イン・ジャパン九州（EUIJ九州）」の単位互換プログラムを多くの学生が受講していることを評価する。
- ・管理栄養士国家試験対策について、模擬試験回数の増加、成績下位者に対する個別指導を行うなど取組を強化した結果、合格率が大幅に向上していることを評価する。（平成22年度74.2%、平成23年度96.9%）

(3) 大学院教育

- ・人間環境学研究科において臨床栄養師養成教育を開始するにあたり、国立病院機構九州医療センターとの連携協定を締結しており今後の取組に期待する。

(4) 教員の教育能力の向上

- ・FD（※）の推進に努めており、今後も教員相互の授業参観システムの構築など、より効果的なFDの展開に期待する。

※FD（ファカルティ・ディベロップメント）

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

(5) 優秀な学生の確保

- ・高校訪問、入試説明会のエリア拡大及び件数の増加、オープンキャンパス、学校見学会の参加者数の増加など、入試広報活動に積極的に取り組んでおり、志願者数、受験者数ともに前年度実績を上回っていることを評価する。

(6) 成績評価

- ・GPA制度（※）を履修登録単位制限の緩和や留学生の授業料免除等に活用することを決定している。

※GPA制度（GPA＝グレード・ポイント・アベレージ）

授業科目ごとの成績評価を5段階（A,B,C,D,E）で評価し、それぞれに対して、4,3,2,1,0のグレード・ポイントを付与し、この単位あたり平均を出して、その一定水準を卒業等の要件とする制度

(7) 学習及び就職支援体制の整備

- ・民間企業の人事業務経験者等を就職支援員として配置し、積極的な企業訪問や学生に対するきめ細かい就職相談・指導の実施等、就職支援の強化に努めており、就職率が向上していることを評価する。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・学内外における共同研究や産学官連携を推進し、目標を上回る実績をあげている。
- ・外部研究資金獲得件数・獲得金額が目標を大幅に上回っており、取組の成果として高く評価する。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・高校へ出張講義や高校生向けの体験授業を積極的に実施し、回数及びアンケート評価が目標を上回っている。
- ・国際化推進センターを設置し、国際化推進体制を強化している。また、JD-Mates (※) の登録者数が大幅に増加しており、留学生支援を充実させていることを評価する。
- ・海外の大学との協定数が目標を大幅に上回っており、また、アジアの大学と「アジア地域大学コンソーシアム福岡」を設立するなど、国際交流に積極的に取り組んでいることを高く評価する。
- ・中国公衆栄養士協会との学術交流及び国際貢献の推進のため、「日本国福岡女子大学食育支援プロジェクトと中国遼寧省公衆栄養士協会との学術交流に関する協議書」を締結しており、今後の取組に期待する。

※JD-Mates (Jyoshi-Dai-Mates)

留学生の生活上、修学上の支援など、福岡女子大学が実施する国際交流事業のサポートを行う学生

4 業務運営

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、国際化推進及び広報・就職等に関する専門的知識・能力を有する職員をプロパー職員として採用するとともに、プロパー職員の採用計画を策定し平成24年度職員採用試験を九州歯科大学及び福岡県立大学と合同で実施している。

5 財務

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。

6 評価

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・自己点検・評価及び個人業績評価の実施と改善に努めている。なお、個人業績評価については制度の目的に沿った、より適切なものとなるよう改善を図りたい。

7 情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ホームページの改訂、新聞への広報掲載など、新学部に関する情報発信に積極的に取り組んでいる。

8 大学改革の推進

評価	5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
----	---------------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施するとともに、目標を上回る取組が多く認められたことから、特筆すべき進捗状況にあると判断し、5と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・国内外での体験学習を積極的に実施するとともに、各種報告会を開催するなど成果発信に努めている。
- ・東部地域大学連携協定の締結など大学や地方自治体、企業との連携を強化しており、教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に貢献する取組に期待する。
- ・「福岡女子大学国際化推進基金」等を活用し、海外での学習に対し財政的支援を行っており、海外派遣（交換留学・体験学習・語学研修）学生数及び受入留学生数ともに大幅に増加したことを高く評価する。
- ・入学後1年間の「国際学友寮なでしこ」での寮生活を教育の場として位置づけ、豊かな人間性や社会性を育むとともに、留学生との共同生活の中でイングリッシュデイを設けるなど異文化間コミュニケーション能力の向上を図っている。
- ・外国人留学生入学試験として韓国において入学試験を実施するなど、優秀な学生の確保に努めているが、学部留学生の出身国の多様化に向けさらなる取組を期待する。
- ・地域連携センターを設置し、女子高校生を対象としたイングリッシュキャンプの実施や、高校生等を対象に鈴木章氏によるノーベル賞受賞記念講演会を開催するなど積極的な取組を行っている。

公立大学法人福岡県立大学

I 全体評価

1 総評

公立大学法人福岡県立大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標（中期目標期間：平成18年4月1日から平成24年3月31日まで）において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質をもった優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

中期目標期間の最終年度となった平成23年度の評価にあたっては、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目7項目中1項目（社会貢献）について、「特筆すべき進捗状況にある」と評定、6項目（教育、研究、業務運営、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成23年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

福岡県立大学は、これまでに地域と連携した取組で着実な成果をあげてきている。平成23年度においても、田川市と共同申請した山本作兵衛コレクションが世界記憶遺産に登録されるなど目標を上回る取組が多数認められ、全国的な知名度の向上にも繋がっており特筆に値する。

今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、大学の理念の実現を目指して、教育・研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務の実施状況については、順調に進捗している。

教育については、人間社会学部と看護学部が連携して教育内容の充実に積極的に取り組んでいる。

社会貢献については、大学の知的資源を活用した各種の健康教室や資格・免許保持者へのリカレント教育、不登校・ひきこもりサポートセンターにおけるキャンパス・スクールや相談事業及び教員対象研修事業、社会貢献・ボランティア支援センターにおける社会貢献活動支援等に積極的に取り組んでいることを高く評価する。

3 財務状況

財務の状況については、自己収入の増加、経費の節減の双方の取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、順調に進捗している。

今後とも、事務局機能の強化に努めるとともに、運営体制の改善、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの確立、情報公開の推進に一層取り組まれることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育の充実

- ・社会人としての基礎力を育成するために、演習科目を4コース開設するなど教養教育の充実に取り組んでいる。

(2) 専門教育の充実

- ・ e-learning システムの利用を促進するとともに、e-learning コースを 65 コース開設している。
- ・ 他学部の専門領域を学べる教育プログラムの意義を学生に伝え、積極的な授業参加を呼びかけたことにより、受講者が大幅に増加している。
- ・ 両学部の学生が一緒に学習する教育プログラムを通じて相互連携の必要性を認識し、演習科目において地域の課題解決に向けて協働で取り組んでいることを評価する。
- ・ 前国際ソーシャルワーカー連盟会長を招へいし特別記念講演を実施した。

(3) 教員の教育能力の向上

- ・ F D (※) の推進に努めており、今後も教員相互の授業参観システムの構築など、より効果的な F D の展開に期待する。

※ F D (ファカルティ・ディベロップメント)

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

(4) 学生の確保

- ・ 入試説明会、高校訪問等の入試広報活動を積極的に実施し、オープンキャンパスの参加者数が過去最高になったこと、志願者数、受験者数ともに前年度実績を上回ったことを評価する。

(5) 成績評価

- ・ G P A 制度 (※) を活用し、成績優秀学生に対する表彰を実施している。
- ・ 社会福祉士、精神保健福祉士、看護師、保健師及び助産師の国家試験合格率について、高い水準を達成しており、取組の成果として評価する。

※ G P A 制度 (G P A = グレード・ポイント・アベレージ)

授業科目ごとの成績評価を 5 段階 (A,B,C,D,E) で評価し、それぞれに対して、4,3,2,1,0 のグレード・ポイントを付与し、この単位あたり平均を出して、その一定水準を卒業等の要件とする制度

(6) 学生への支援

- ・ 1、2年生を対象としたキャリア形成支援講座の実施、キャリアサポートセンターでの講座開催等、キャリア支援の強化に努めている。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 附属研究所において、生涯福祉研究センター（人間社会学部）、ヘルスプロモーション実践研究センター（看護学部）の独自の研究プロジェクトや両学部連携による共同研究プロジェクトに積極的に取り組み、目標を上回る実績をあげている。
- ・ 外部研究資金への応募件数、獲得件数がいずれも目標を上回っており、取組の成果として高く評価する。
- ・ 産学官連携に積極的に取り組み、目標を上回る実績をあげている。

3 社会貢献

評価	5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
----	---------------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施するとともに、目標を大幅に上回る取組や中期計画に掲げる事項以外にも社会貢献に関する積極的な取組が多く認められたことから、特筆すべき進捗状況にあると判断し、5と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 大学の知的資源を活用して地域住民の健康向上のための各種健康教育事業や資格・免許保持者等に対する講習会、シンポジウム等

- を開催し、また生涯福祉研究センターにおいて、福祉・教育・健康の相談事業に積極的に取り組んでいることを評価する。
- ・不登校・ひきこもりサポートセンターにおいて、教員対象の研修回数が目標を大幅に上回り、学生による県大子どもサポーターの派遣事業やキャンパス・スクールの受入等の活動も活発に行われていることを高く評価する。
 - ・社会貢献・ボランティア支援センターにおいて、学生による社会貢献活動の支援に積極的に取り組んでいることを評価する。
 - ・田川市と共同申請した山本作兵衛コレクションが日本初となる世界記憶遺産に登録された。
 - ・第30回日本思春期学会総会・学術集会を開催し、市民公開講座に360名を超える参加者を得ている。
 - ・アジアの大学との学術交流に積極的に取り組んだこと、交換留学生数が増加したこと、海外語学研修の内容を充実したことを評価する。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けてプロパー職員の採用計画を策定し、平成24年度職員採用試験を九州歯科大学及び福岡女子大学と合同で実施している。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を大幅に上回る収入実績をあげていることを高く評価する。
- ・メール便利用の促進により、通信費の節減を図り、目標を上回る実績をあげている。

6 評価

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・自己点検・評価及び個人業績評価の実施と改善に努めている。なお、個人業績評価については制度の目的に沿った、より適切なものとなるよう改善を図りたい。

7 情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成23年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ホームページ内容の改善や定期的な更新により情報公開の推進に努めている。